

## 主の年 2022年

新しい年を神様の前に始めませんか。どなたでもお越しいただけます。

集会のご案内

- 主日礼拝** 日曜日 ①午前9:30～10:30 ②午前11:00～12:00  
日曜日を聖なる日として神様に礼拝をささげます。讃美歌を歌い、祈りをささげ、聖書から語られるメッセージに耳を傾けます。  
※新型コロナウイルス対策で2回に分けています(①と②は同じ内容です)。
- 子どもチャペル** 日曜日 午後1:00～2:00  
子どもたちのために聖書のお話が語られます。  
楽器を使って楽しく賛美します。  
※幼児から中高生対象

## 神にあって生きる

現在、教会に来られている方たちにも、神様との出会いがありました。  
第17回目は、KYさんにその経緯を語っていただきます。

私は、宗教には縁のない環境に生まれ育ちました。教会を知ったのは、広島で結婚後、先にクリスチャンになった妻の教会への送迎がきっかけでした。

転勤で名古屋や大阪を転々とし、その後宝塚へ引っ越し、縁あって妻の通っていた宝塚栄光教会で、岩間先生のご指導により、イエス様の十字架を信じて救われ、洗礼を受けました。

19年前の51歳の時、脳卒中で倒れ、右片麻痺の後遺症が残りました。開頭手術をした頭蓋骨が異常に痛み、2週間うなされ、死んだほうがまだと思ったものです。入院中には、胸が氷で固めたようにガチガチになり、カナヅチでたたいてほぐしたい程苦しかったのを思い出します。

そんな時、神様を信じている妻から「神様は耐えられない試練は与えられないよ」と、聞かされていました。意識のもうろうとしている中で、ずっと一緒にいてくださった方がいて、あれはイエス様だったと今でも思えてなりません。

そしてリハビリをして、左手で大体のことは何でも出来るようになり、杖と装具をつけた足で、一人で歩けるようになり、会社に復職する事も出来ました。

片手片足でも楽しい日々を過ごす事が出来ていましたが、8年後に2度目の脳卒中になり、今度は、残されていた左手左足にも力が入らなくなり、

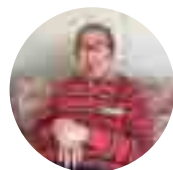
字も絵も描けなくなり、歩く事も出来なくなり、人と話す事も満足に出来ず、よだれは常に出るようになり、楽しいと思う事がなくなりました。何のために生きているのかと思ったこともあります。

クリスチャン作家の三浦綾子さんの本に、「人間には生きる権利はない。生きるのは義務だ」とありました。死ぬほどいやな事があっても、生きるしか選択肢はない…ということかと思い、考えさせられました。

今は食事・風呂・着替え等は、妻の介助なくてはできません。妻は良く働くと感心し、感謝もしています。

この病気をきっかけに、神様の事を知り得たことに感謝しています。病気をし初めて分かる事も多く、肩で風を切って歩いていた自分には、考える事の無かったような事も学ばせて頂きました。

病気も悪いことばかりじゃないと思えるようになりました。あの時死んでおれば、誰も苦しなくて済んだものを、神様はこんな私をまだ何かに使おうとされているのだと思います。いつその時がきてもいいように、これからも聖書を愛読し、残された人生を、神様の憐みの中で歩んで参りたいと思います。



## 宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail : info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル(聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。  
ホームページからも利用できます。

礼拝 毎週日曜日

第一部 9:30～10:30

第二部 11:00～12:00

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。  
お困りの方はご相談ください。



## 新しいみわざを求めて

新しい年が明けました。この年も、あなたの上に神様の恵みが豊かにありますようにお祈りいたします。

新年は、気持ちも新しくして出発する時です。お正月に多くの方々が初詣に行かれるのも、新しく出発したいという決意と願いをこめてのことでしょう。しかし、私たちは、新しくくださるお方を知らなければなりません。聖書にこう書かれています。

「見よ、わたしは新しいことを行う。今、それが芽生えている。あなたがたは、それを知らないのか。必ず、わたしは荒野に道を、荒れ地に川を設ける。」(イザヤ書43章19節)

「わたし」とは、天地を創造された、ただお一人のまことの神様です。私たちは、この神様の前に汚れた罪びとで、そのままでは滅んでしまう者でした。しかし、神様は私たちを愛して下さり、私たちが滅びないようにと、ご自分のひとり子イエス・キリストをお送りになりました。

キリストは、33年半の生涯の後、十字架にかかって死なれました。それは私たちの罪のためでした。キリストは罪のないお方でしたのに、罪びとの私たちに代わって十字架にかかれたのです。私たちが滅びないで、罪から救われるためです。私たちが自分の罪をおわびして、十字架を信じれば、誰でも、どんな罪も赦され、救われます。そして、生まれ変わった光の子として、新しい人生を歩んでいくことができるのです。

「新しいことをする」とは、まず私たちの内に、この造り変えのみわざがなされることです。これは、目があっても見ることができず、手があっても救うことができない偶像には、とうてい不可能なことであり、まことの神様だけがなし得ることなのです。

あなたは、本当に新しくなりたいと願われますか。それなら、ぜひキリストのもとにおいでください。そして、内になされる新しいみわざを体験してください。





## 「青木湖 ー北アルプスの鏡ー」

北アルプス山麓の 信濃大町市に  
仁科三湖と呼ばれる 3つの湖がある

木崎湖 中綱湖と 青木湖である

糸魚川静岡構造線の 断層に沿ってできた 陥没湖だ

3つの湖に沿って 東側をJR大糸線と 国道148号線が通っている  
湖沿いには 「塩の道」と呼ばれた 千国街道ちくにがあり  
信州と海をつなぐ 唯一の路であった

青木湖は 周囲6.5km 標高832mの高原にあり

仁科三湖の中で 一番大きく 透明度が高い湖で 水が美しい

「思索の青木湖」と 呼ばれている

この湖に流れ込む川は どこにも見当たらない

それなのに 水位が 保たれているのは

湖底において かなりの量の 清水が湧き出ていると 言われている

湖面は 静かで 穏やかな表情だが

内に秘める 力強い志を 見るようである

新しい一年が始まる今 青木湖に力づけられている

新しい歌を 主に向かって 歌え

全地よ 主に向かって 歌え

主に向かって 歌い 御名を たたえよ

日から日へ 御救いの良い知らせを 告げよ

詩編96編 (聖書)